☆☆　新型コロナウイルス感染症ニュース　第 67 号　2021.5.17　☆☆

本日よりワクチン個別接種の予約が始まり、仙台市における一般市民向け接種事業が本格化いたします。早く接種を受けたいという市民の方のご要望も多く聞かれ、また準備の不備など混乱を生じる恐れも懸念されます。今後も安心、安全な接種の実施に向けて医師会員の皆さま方の全面的なご協力をお願いしたいと思います。仙台市内の感染状況は下げ止まりから微増傾向です。ワクチンの現状と、寄せられたご質問、また感染対策についてご報告いたします。

仙台市における新型コロナウイルスワクチンの高齢者向け接種について（5 月 14 日、仙台市発表）

仙台市による発表内容を抜粋いたします、再度ご確認ください。

・**個別**接種は 5 月 17 日（月）から各医療機関で受付、5 月 31 日（月）より接種を開始。
・**集団**接種は 5 月 31 日（月）から受付ですが、5 月 31 日（月）から 6 月 2 日（水）は 75 歳以上の方のみです。6 月 12 日（土）より接種開始。
　ワクチン接種専用コールセンター（電話）０５７０－０５－５６７０
　Ｗｅｂ予約システム（ＵＲＬ）https://www.city.sendai.jp/covidvaccine/yoyaku.html
・ほか**大規模接種会場の設置**について、東北大学および宮城県と調整中。

個別、集団接種場所の周知について

個別接種対応医療機関、集団接種会場などのリストは**仙台市 HP など**で公開されております。**新聞紙面への掲載**や 5 月中には各家庭へ予約方法など記載された**冊子の配送**が予定されております。

二重の予約について

早く接種を受けたい市民の方が、一人で複数のクリニックや集団に予約することも予想されます。しかし、これに対しては一か所で予約したら速やかに他をキャンセルするなど、**市民の方の善意に頼るしかない**のが現状です。仙台市、医師会としての統一した方針を示すことはできておりません。

予診票の事前配布について

接種のスムーズな実施のために、被接種者に事前に予診票を記入してもらうことがすすめられますが、印刷や日程の都合上予診票の事前配布が困難でした。現状では各医療機関で配布のほか、今後各区役所、総合支所に予診票を配架することなど検討されております。

医師会請求済み予診票の確認作業について

ただいま、4 月実施分として仙台市医師会へご請求いただいた予診票の確認作業を行っています。予診票の内容などに不備がある場合、医療機関様へ確認のご連絡を差し上げております。不備の内容によっては一度返送させていただく場合もございますので、ご対応のほどよろしくお願いします。特に署名欄につきましては、後ほど疑義を生じさせないために「日本語で姓名」を「手書き署名」または「記名＋押印」でご記載していただくことが望まれます。

ワクチンの予約と配送について

5 月 14 日発送の「新型コロナワクチン接種事業について（その 12)」を再度ご確認ください。

5 月 31 日から使用分のワクチンは医療従事者・一般接種と分けて考える必要はなく、接種する必要回数分を注文することになります。医療従事者への優先接種も引き続き行えます。**1 バイアル 6 回接種**できる針・シリンジが供給されます。

5 月 24 日以降、毎週**月曜日**にバイタルネットより FAX で注文書(移送希望確認書)が医療機関に届きます。その週の**水曜日まで**に医療機関からバイタルネットへ、翌週分の 希望**バイアル数**、ワクチンの**配達希望日**を FAX で**注文**します。(**初回のみ 5 月 25 日（火）**まで)。保管期限、解凍など必要時間にご注意ください。

時間外や休日のワクチン接種について

まず、時間外や休日にワクチン接種を行う場合の保健所への届け出は不要です。2 月 1 日付の「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの迅速な接種のための体制確保に係る医療法上の臨時的な取扱いについて（その２)」厚生労働省からの事務連絡に記載があります。

平時であれば、個人開設の場合には診療時間の変更した場合においては、診療所は変更の届出が必要となりますが、新型コロナワクチン接種のために臨時的に診療時間や診療日を変更する場合は、省略可能となっております。

また、4 月 30 日付の厚生労働省から自治体向けの事務連絡で時間外・休日の接種費用について、下記のワクチン接種対策費負担金に診療報酬上の時間外等加算相当分の加算（案）の通知がありました。

・時間外 2,070 円→2,800 円

・休日 2,070 円→4,200 円

しかし、具体的な「時間外・休日」の規定や算定請求方法については未だ決まっていないようで、正式な通知はありません。詳細が分かり次第お知らせいたします。

バイアル内の残余ワクチンの対応について

コミナティ筋注の添付文書には「0.3mL 未満の残量が生じた場合は破棄するよう」記載があり、「複数バイアルの残量を足し上げて接種」することに対する厚労省からの回答です（5 月 14 日)。

⇒厚生労働省としては、臨時接種実施要領にあるとおり、「添付文書を確認の上、適切に使用すること」との見解です。余分量を足し上げて接種した場合に、間違い接種として報告いただく必要はありませんが、仮に添付文書から逸脱した場合についての責任は、接種を実施する医師側にあることになります。

仙台市、医師会でもこれ以上の推奨や禁止はしておりませんが、ご確認、ご注意ください。

接種券がない方へのワクチン接種について

接種予約の急なキャンセルや体調不良に際し、余ったワクチンを接種券が無い方に接種する対応についてです。仙台市では市内に住民票のある方に限り「医療機関を経由して再発行申請書を使って接種券の発行申請を行い、市から医療機関に対し、接種券を送付。2 回目の接種が終わるまで当該医療機関において接種券を保管いただく」という方法があります。しかし、**まずは接種券を持っている方に接種するのが原則**と考えられます。

ドライブスルーPCR 検査について

現在市内では日曜日に仙台市医師会、平日に東北大学病院臨時診療所、そして仙台市が無症状者に対して毎日検査をしております。日曜日の仙台市医師会地域外来検査センターは５月中旬現在、落ち着いた件数で順調に推移しております。平日の東北大病院が運営する鼻咽頭の PCR 検査には、医師会員が毎週水曜午後に交代で参加しておりますが、６月よりワクチン接種などの影響で辞退者が出ております。水曜日午後にお時間取れる会員の先生がおりましたら、ぜひご協力をお願い申しあげます。メールにてご連絡ください。

（草刈千賀志）

宿泊療養施設オンコール当番

現在、県内の宿泊療養施設に入所されているのは 160 名ほどです。
4 月に会員の皆さまに協力アンケートをとり 27 名という多くの会員の先生方の協力いただける返事をいただきました。心強く感じました。ありがとうございます。5 月 16 日より会員の先生による 2 つの宿泊施設日曜日のオンコール当番が始まりました。　（佐々木祐肇）

高齢者施設クラスター対応

厚労省 DMAT が 4 月末で宮城を離れ、ゴールデンウイークから宮城県での自走体制となっています。5 月に入っても仙台市内の高齢者施設における陽性者は出ていますが現在は医療機関へほぼ直ぐに転送入院できており施設内での陽性者管理はせずに済んでおります。施設内のゾーニング、濃厚接触者への対応と経過観察は必要であり保健所や感染制御チームが対応しております。4 月 21 日の医師会対応状況報告会後に協力いただける会員の先生を募ったところ理事の他に 7 名の先生方から協力可との返事をいただいております。ありがとうございます。4 月 29 日に行われた厚労省 DMAT 主催の高齢者施設クラスター対応研修会にその先生方も参加いただきました。　（佐々木祐肇）

開業会員施設での検査数拡充（濃厚接触者要検査者）

現状約２０施設程度にご協力頂き、仙台市内の感染状況の改善、および交通手段のない方の交通手段の増加（タクシー会社等の協力による）もあり、あまり大きな問題なく対応出来ているようです。現在アンケートをまとめて頂いております。向後感染状況の悪化の折には、新たな施設にさらにお願いする必要がでるかもしれません。その折はよろしくお願いいたします。　（綿谷秀弥）

自宅療養者に対する医療的支援　～経過（2）～

仙台市からの要請により本年 4 月 16 日より開始されました自宅療養者に対する保健所からの電話相談は、「まん延防止等重点措置」の解除に伴い 5 月 11 日をもって一旦終了となりました。この間の問い合わせ件数は 3 件と少ないものでしたが、保健所の担当者からは、この体制があることだけでも安心感があったとの声が寄せられました。今後、新規感染者の増加の際には当支援事業の再開もあり得ます。
（菊地　徹）

ニュース部より　（67 号担当　福壽岳雄）

ニュース編集中、開業会員のメーリングリストに「今回は 3.11 以来の我々開業医にとっての試練の場であると同時に力の見せ所でもあると考えます。ここでプレゼンス発揮できなくていつやる」という書き込みをいただきました。非常に心強く思われます。ワクチン接種事業は各医療機関の方々にかなりの負担と思われますが、この感染症をコントロールするため、市民の方々の期待にも最大限お応えしたいと思います。会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

仙台市医師会へのご意見・ご質問等は FAX、メールでお願いいたします。

FAX：022-267-5193　　メール：sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp